

下野市立緑小学校

1 学校課題

「共に学び合い、高め合い、認め合う児童の育成」
 ～児童一人一人の学力・学習意欲を高める授業づくり～

2 研究計画

- (1) 全校体制での指導実践（一人一授業公開の実践）
 - ・授業目標の自覚化：児童と教師が互いに同じ目的意識をもって課題解決
 - ・学習活動の協同化：「グループワーク」を取り入れることによる「学び合い」のある授業
 - ・機器の積極的活用：指導の効果を高めるための工夫
- (2) 校内研究会
 - ・S&Uコラボ授業での授業実践
 - ・ブロック毎の授業研究や事前授業での授業検討会
- (3) 研究のまとめ
 - ・成果と課題の確認と次年度の課題検討



3 研究内容

本校では、児童の学ぶ意欲の向上を図るため、研究に取り組んできた。昨年度は、算数科を中心にグループ学習での学び合いや活用力を高める授業展開を研究し、児童の学習意欲の向上や教師の授業力の向上に役立てることができた。

今年度は、更に実践内容を算数以外の教科にも広げ、課題研究に取り組むこととした。また、教師の授業技術としてICT活用を検討し、従来の授業技術との融合を図ることを通して、児童の学力向上を目指した。

(1) 学校課題研究の概略

	教科等	研 修 内 容	
①	ICT	5月24日（水）学校課題校内研修	
		指導者	学習指導主任 篠崎 勝彦 先生 情報教育主任 加藤 郁美 先生
		研 修	電子黒板活用研修
②	ICT	6月5日（月）S&Uコラボ事業による研究会	
		講 師	宇都宮大学 教育学部 准教授 川島 芳昭先生 下野市教育委員会 指導主事 田澤 孝一先生
		講 話	「ICT機器」を活用した授業実践について
③	ICT	6月14日（水）学校課題校内研修	
		指導者	学習指導主任 篠崎 勝彦 先生
		研 修	pepper研修
④	国語 1-2	10月31日（火）S&Uコラボ事業による授業研究会	
		指導者	宇都宮大学 教育学部 教授 松本 敏先生 下野市教育委員会 指導主事 岡本 直美先生
		授業研究会	単元名「くじらぐも」授業者 加藤 郁美先生
⑤	理科 6-1	11月29日（水）S&Uコラボ事業による授業研究会	
		指導者	宇都宮大学 教育学部 教授 久保田 善彦先生 下野市教育委員会 指導主事 稲葉 亜希恵先生
		授業研究会	単元名「月と太陽」授業者 鎌田 貴之先生
⑥		12月20日（水）学校課題校内研修	
		研 修	研究のまとめ

(2) 研究の実際

①第1回S&Uコラボ事業による研究会

講話：「ICT機器」を活用した授業実践について

＜内容＞ 新学習指導要領で求められるICT活用

講師の川島先生は、これからの時代に求められている人材についてまとめてくださった。社会の中で自ら問いを立て、解決方法を模索して計画を実行し、問題を解決に導くことができる人材を育てるためにプログラミング教育を取り入れていく意味がある。そのために、教師のICT活用の能力、授業設計能力などが求められているという講話であった。この講話をもとに、ICT機器の活用の充実を目指すこととした。

②第2回S&Uコラボ事業による研究会



1年2組 国語「くじらぐも」

＜本時の目標＞場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読むことができる。

本時は「くじらぐも」の第4場面を音読し場面の様子を捉え、自分がかじらくもに乗ったつもりになって会話を想像する内容である。児童の想像力を刺激し、表現力を向上させるためにICT機器の効果的な活用を図った。グループワークを活用し、自分や友達の考えを交流し、相違点に気付くことで考えを深め、ふさわしい表現を見つけようとすることを目指した。交流の前にくじらぐもに乗って移動するイメージを広げるために上空から下を眺めた映像を視聴させた。さらに雲に乗っている自分を視覚的に捉えられるようプロジェクターで挿絵を映し出した。写真のように、くじらぐもと自分が写る画面をみながら音読することができた。

③第3回S&Uコラボ事業による研究会

6年2組 理科「月と太陽」

＜本時の目標＞日によってかわる月の形の見え方の理由を捉えるために、実験を通して月と太陽の位置の関係を明らかにさせる。

今までの研究で効果のあったグループワークによる学び合いやICT機器の活用の工夫等を踏まえ授業展開を考えた。1ヶ月間、月を観察記録させ、本時は模型を使って児童の体験的な学習が充実するよう支援し、児童のより深い理解を目指した。実験の記録を残し、分かりやすく説明するためにタブレットやデジタルカメラ、ビデオカメラを活用した。観察者の視点に立って記録することで、月と太陽の位置関係に迫ることができた。



4 本年度の成果と課題

【成果】

- グループで学習に取り組むことで、学習意欲を高め、自分の考えを深めることができた。学び合うことで、思考力・表現力を伸ばすことができた。
- 授業展開を考えるにあたり、ブロック内の教員同士で3つの仮説をもとに共通の認識をもって単元計画や授業計画、教材研究に取り組み、事前・事後に同様の授業を実践することで、授業力向上を図ることができた。
- ICT活用のできる内容や場面を考えたり、実際に授業で活用したりすることで、授業力向上につながった。

【課題】

- さらに児童の学習意欲を高め思考力・表現力を伸ばすために、グループ学習の充実を図りたい。
- 児童個々の意見を全体で練り上げていく際の指導法を研究したい。
- 学び合うためのツールとして、教師自身のICT機器の活用技術の向上を目指し、児童の学力や学習意欲の向上に役立ていきたい。